

## パラダイム・チェンジ でも昔の名前で出ています

1923年マックス・フリッツが500ccボクサーR32を世に出して90年、  
2013年にR1200GS、モデルコード「K50」をリリースしました。  
空水冷エンジンとかDOHCとかソナナモンどうでもいい！  
R32とR1200GS「K50」は系統が異なるのだ！

ボクサーエンジンの後方に乾式単板のクラッチ、そしてギアボックス、シャフトと  
ファイナル・ドライブの黄金コンビ。

$EG + CL + TM + SHAFT + FD = BMW \cdot R$

これがクラッチとトランスミッションがエンジンの下に潜り込んだ新型Rが

EG

$CL + TM + SHAFT + FD = NEW \cdot R$  となってしまいました。

数式としてみれば計算は複雑ですが一部2階になったことで短くなっています。

R32以来、進化の系統樹は真っ直ぐ上に伸びていたBMWボクサーは2013年に  
枝分かれしたのである。従来型R1200GS「K25」が2004年から同じモデル名でありながら  
別物になってしまったのである。意図しない突然変異だったのか？

そんなことはないはずだ！ エンジニアが考え抜いて未来に繋がるボクサーを目指した物と思う。

そしたら何故モデル名を変えない！ R1200GSの「R」はRADの略で車輪の意味である。

当時飛行機を作っていたBMWがプロペラから車輪に舵を切った際の記号である。

しかしベツモノである以上、堂々と新しいモデル名をつけるべきでしょう。

ふと思い出しました。あの時も1200、ちょうど10年遡った2003年。

鳴り物入りでデビューした縦置き4気筒のK100シリーズが1100になり、

そして1200になり、知らないうちに同じモデル名のまま横置き4気筒になっていました。

これはどうしたことでしょう？ キヨスクで新しい「少年サンデー」が出たと思い購入したら

小さく「月刊」とか「増刊」と出ているのと違いはあるのでしょうか？

面白ければOKか？ なんか違うような気がします。

RナインTなどはまだ従来型のエンジンを搭載しています。

数年経って新型「R」が受け入れられない場合は元の系統樹に吸収されるのでしょうか？

たんに突然変異＝ミュータント・モデルで終わるか、新しい系統として発展するか、

これから数年間はワクワクが続きます。

ボクサーのクセを徹底的に削ぎ落とした新型Rはツインの星として君臨できるのか！？

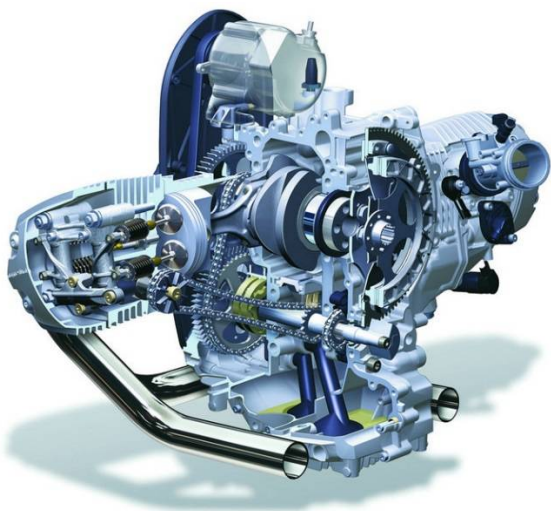
**CRIMECA**



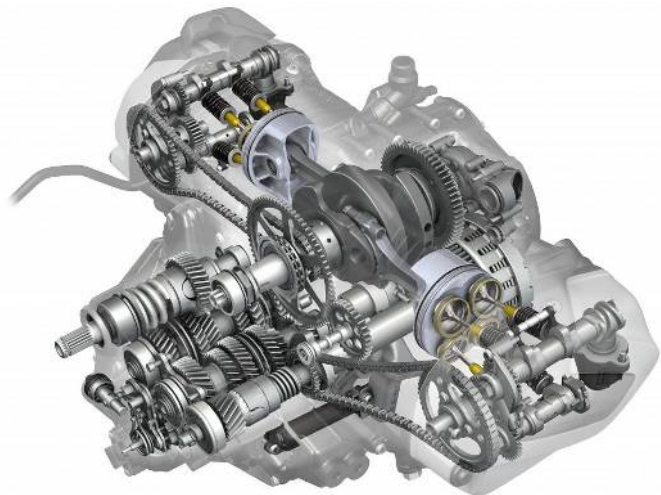
これはK1200のカタログ資料より「K589」



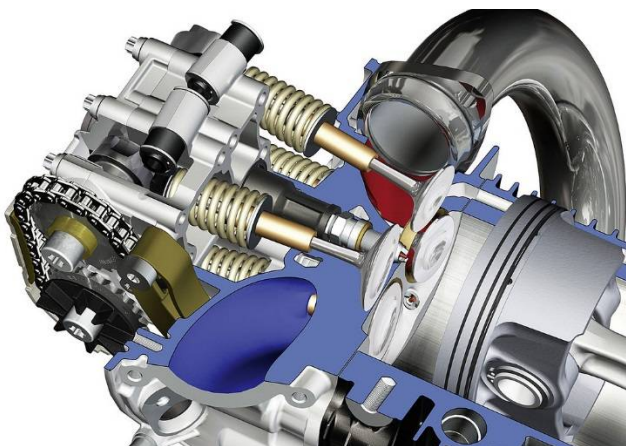
これもBMW・K1200のカタログです「K40」



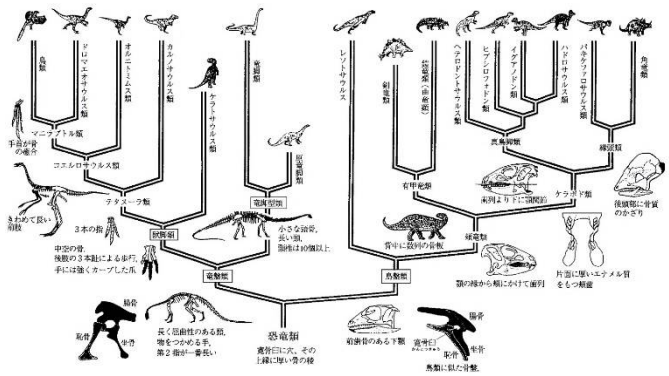
R1200GS ギアボックスは未装着



R1250GS バルブコントロール装着付き



HP2 SPORT チョット難解なDOHC



Gardou, T., The Natural History Museum book of dinosaurs, The Natural History Museum, London, 1993  
Norman, D., Dinosaur, Prentice Hall, 1991

少年が大好きな恐竜の系統樹（インターネットより）

